

平成20年度実績	平成21年度安全重点施策	
①必要性と優先度を検討し、設備投資計画を策定	安全管理体制の確立	①事故の防止対策など安全性の向上を図るため、各部門へのアンケート、ヒヤリング、調査を実施し、輸送の安全確保に必要な要因を検討分析し、安全に関する設備投資計画、予算計画を立案する。さらに、前年度の投資案件に対し、その効果を検証する。
①チェックシートの改良、監査手順を変更し効率化を図った。 ②各部門のヒヤリハットを3ヵ月ごとに集約し、会議を開催することで情報共有に努めた。 ③社内イントラネットに情報を掲載し社員がいつでも確認できるようにした。	安全管理体制の確立	①安全マネジメント監査において、従来の「適合性」チェックに加え、「有効性」チェックの視点からも監査を行う。 ②複数部門の関与する業務において、部門間で成されている取り決めの確認を行い、その運用状況をチェックする。 ③各部門の監査を通じて、ヒヤリハット活動の啓発を図るとともに、ヒヤリハット情報を有効活用する。 ④経営管理部門を含めた安全マネジメント教育を充実させる。
①特別助役業務研修会などを実施 ②提出されたヒヤリハットに基づき、ホーム監視用テレビの見直しを行った。 ③実施済み ④列車遅延の列車番号を抽出し原因の分析を行った。 また、輸送状況やお客さまのご意見を基に車内自動放送の見直しを行った。	安全管理体制の確立	①安全に関する教育訓練を実施する。 ②運転保安に関するヒヤリハット情報を周知するとともに、原因分析を行い、対策などへ活用する。 ③教育・指導の機会を中心に、乗務員を含め、すべての職種間でのコミュニケーションを継続的に図る。 ④車庫構内において、ATS設置などにより、「事故の芽」を摘み取る。
	線路・施設変更への対応	①定駅付近下り線高架化に伴う線路・施設の変更以降も、安全、適法かつ適正な列車運行を継続する。
①安全管理規程やそのほか安全にかかわる規程類について教育を実施。また、触車災害についての教育も実施した。 ②橋梁衝撃検知装置故障対応訓練、止水扉操作訓練など実施 ③各種会議体で周知した。	安全管理体制の確立	①安全に関する教育訓練を確実に実施するとともに、その報告についても確実にを行う。 ②安全に関する教育訓練について、教育効果を確認する。 ③ヒヤリハット報告をさらに充実させるとともに現場係員へのフィードバックを行う。
①天満橋駅、樟葉駅実施済み。 枚方市駅は平成21年度に繰り越し。 ②天満橋駅に設置 ③工事完了 ④工事完了	安全関連投資の実施	①駅耐震補強工事(京橋駅、枚方市駅、丹波橋駅、守口市駅操車棟他) ②地下駅防火防煙シャッター設置工事(淀屋橋駅、天満橋駅) ③道床改良工事(大阪地下線、西三荘駅、樟葉駅付近) ④タイププレート交換工事(急曲線部)
①安全管理規程などについての教育を実施 ②架線自動車脱出訓練、柱上変圧器取替訓練など実施 ③ヒヤリハットに基づき作業用列車接近報知器を改善	安全管理体制の確立	①安全に関する教育訓練を確実に実施するとともに、教育効果を確認する。 ②安全に関する情報の伝達を確実にを行う。 ③ヒヤリハット報告をさらに充実させるとともに現場係員へのフィードバックを行う。
①6カ所に新設 ②天満橋変電所、蒲生変電所の機器更新 ③2駅に新設 ④3駅に新設 ⑤3駅のITVをカラー化	安全関連投資の実施	①踏切支障報知装置新設工事 ②支持物補強建替工事(コンクリート柱) ③変電所機器更新工事(蒲生変電所、淀変電所) ④連動装置更新工事(寝屋川車庫) ⑤列車接近表示器新設工事 ⑥ホーム異常通報装置新設工事 ⑦車掌列車監視用ITVカラー化工事
①ヒヤリハットを集約し情報共有に努めた。 ②「過去の車両関係重大事故年表」を作成 過去の重大事故をテーマに勉強会を実施	安全管理体制の確立	①運転保安に関係する「事故の芽情報」についてヒヤリハットを集約し、事故の未然防止を図る。 ②過去の重大事故の教訓を継承する。
①8編成(48両)新造 ②平成23年6月までに全先頭車(101編成208両)に搭載予定(平成21年3月末時点で46編成94両搭載完了) ③平成24年度末までに全先頭車(101編成208両)に搭載予定(平成21年3月末時点で5編成10両搭載完了)	安全関連投資の実施	①運転状況記録装置新設 ②列車防護無線の新設 ③8000系車両改修工事 ④新型ATS装置の検討
①脱線復旧訓練、軌道自動車救援訓練などを実施 ②他社事例を部内で供覧し情報共有に努めた。 ③実施済み	安全管理体制の確立	①安全管理規程および運輸安全マネジメントを含めた教育訓練を確実に実施し、習熟状況を把握する。 ②課題・継続検討に対して、すみやかに対応する。 ③他社事故事例を鑑みて、自部門の安全診断を実施する(10件以上)。 ④ヒヤリハット報告を充実させる。
①5編成に搭載完了	安全関連投資の実施	①運転状況記録装置の設置 ②ホームセンサーによる保安度向上
①触車事故防止教育を実施。 また駅構内版社に対しても教育を実施 ②基本操作の訓練のほか、運行システムダウンを想定した訓練を実施 ③ヒヤリハット体験を集約したものを全駅に掲示し対策を公募、対策をフィードバックした。	安全管理体制の確立	①安全教育の徹底により、線路内および接近作業時における触車事故を防止する。 ②操車業務における基本的取り扱いを徹底する。 ③ヒヤリハット報告を充実し、対策を実現化する。
①「工事など係員に対する適性検査ならびに教育訓練実施要領」を制定。研修会を計画通り実施し、また教育の効果を把握するため小テストを実施した。 ②部内3カ所に掲示 ③情報共有会議を開催し情報共有に努めた。 ④「試運転・習熟訓練運転中の安全管理マニュアル」などを制定。また、触車災害、他社の事故例などの教育を実施した。 ⑤建築限界測定、軌道動的検測などを実施		